日本再出発 先導役担う 東商23支部

東商支部会長に聞く

北支部　越野 充博 会長

北区は明治以来、紡績工場や製紙工場、製紙関連の化学工場が立ち並ぶ、一大工場地帯として繁栄してきました。1960年代に入ると、旧工場立地法の施行により、大企業の工場は次々に郊外へ移転してゆきましたが、独自の技術、技能を有する中小企業が数多く残り、北区発日本のモノづくりを支えています。

日本のモノづくり支える

木造住宅密集地域が多い北区では、東京都の「木密地域不燃化10年プロジェクト」の不燃化促進地域に、十条駅西地区と志茂地区が指定されました。

北支部では建築、不動産業関連の会員に、制度の趣旨や固定資産税の減免措置などの支援策を周知する説明会を実施するなど、地域に根差した事業者による不燃化事業の推進に取り組んでいます。

また、喫緊の課題である王子駅周辺のまちづくりについても、有識者を交えた研究会で検討を重ね、区への提言をとりまとめる予定です。

新宿支部　髙野 吉太郎 会長

「地元の賑わい」と「元気な企業」をスローガンにする新宿支部は、新宿観光振興協会と連携し、海外からの観光客誘致に力を入れています。そのためにも地域の魅力づくりと情報発信力を高め、たくさんの訪日外国人が新宿で楽しく過ごせるように、多言語対応など地元の受け入れ態勢の整備を進めてまいります。

創業者拡大と永続支援

また、創業者の拡大と企業永続の支援のため、新宿区をはじめ、金融機関との連携を強化し、支援体制を強化するほか、区と共催のビジネス交流会を多数開催し、「優良企業表彰」の受賞企業との交流や創業者同士の交流・研さんの場を提供しています。

この5月には「ビジネスサポートデスク東京西」を支部内に開設しました。創業者の育成だけではなく、事業承継、ウェブ活用、人事・労務など、多様化・複雑化する経営課題を的確にサポートし、強い会社づくりを応援します。

千代田支部　前川 秀樹 会長

千代田区には江戸職人の流れを引き継ぐ事業所が存在します。また東京の中心的地域で、便利な交通網と集中する首都機能を背景に、新たなビジネス展開する企業も多いです。

千代田支部は設立40年を記念して、7月3日に創業100年を超える会社から企業永続の秘訣（ひけつ）を学ぶトークイベントを開きました。老舗企業3社の当代リーダーの話に150人が耳を傾けました。また創業・ベンチャー企業支援として支部が後援する「千代田区ビジネス大賞」におきまして「支部会長賞」のほかに特別顕彰として「チャレンジ賞」を設けました。業歴が浅くてもチャレンジ精神旺盛な企業を表彰し、より活発なビジネスチャンス拡大を推進します。

観光推進も支部の役目。「千代田伝統行事振興協議会」を設け、商売繁盛・天下泰平を祈った伝統行事を、神田明神などで実施しています。

チャレンジ企業を表彰

目黒支部　佐藤 與治 会長

目黒区はおしゃれな店舗や観光イベントが多い地域です。インテリアショップやカフェが多く立地する目黒通りでは各店が連携して「目黒インテリアショップコミュニティ（MISC）」を形成し、情報発信やイベントを展開しています。毎年9月開催の「目黒のさんま祭（区民まつり）」は区内を代表する観光イベントとして全国に知られるようになりました。本年度に設立40周年を迎える目黒支部では個別店舗の強化と商店街の活性化をテーマに、経営者向けセミナーや若手経営者を集めた交流会などに力を入れています。魅力ある商店を多く集め、目黒を訪れた人が買い物や観光を楽しむことで地域活性化につなげます。

また、IT系企業が多い渋谷区に隣接する立地を生かし、同業種の企業誘致にも積極的に取り組んでまいります。起業相談にも丁寧に応じ、企業活動が活発な元気のある目黒を目指します。

情報発信・イベント展開

荒川支部　富永 新三郎 会長

荒川区は、金属製品に印刷、紙に樹脂と幅広い製造業が点在しています。ほとんどが中小企業であり、今後も区内で事業を続けてもらうため、荒川支部は区役所と連携し、企業の事業承継や創業支援を展開します。

2013年に荒川区が区内製造業を対象に実施した調査では約33％の事業者が、事業を廃止・清算予定という結果が出ました。後継者不在や将来性、業績不安が理由で、対処が不可欠。個別相談や経営者同士の交流の場を区と共催で設け、連携するからこそ手厚くできるサポート体制を構築し、事業者の自助努力を促せる場づくりに励みます。

観光振興にも取り組みます。南千住は松尾芭蕉の「奥の細道」矢立初めの地であり、15年3月に「奥の細道千住あらかわサミット」が開催されます。「あらかわもんじゃまっぷ」とともに多くの人に来てもらえる仕掛けづくりを続けます。

企業の事業承継を支援

文京支部　金子 收 会長

文京区は、印刷業を筆頭に出版社や製本業、また東京大学など文字通り〝文教〟の街であるとともに、本郷地区を中心に医療器具のメッカとして注目されています。交通利便性が高い上、昔ながらの街並みや史跡・庭園も多く、また観光では「文京花の五大祭り」として湯島天満宮の「梅祭り」から白山神社の「あじさい祭り」まで開催され、散策にも魅力の高い地域です。

文京支部は「食」の魅力を伝えようと「食の文京ブランド100選」推奨事業を展開。推奨店舗は「おいしゅうございまっぷ」としてまとめ、区内各地で計10万部配布し、観光振興と商業活性化に寄与しています。区内産業の育成も欠かせません。2013年度に事業承継セミナーとシンポジウムを開催。今年は若手経営者向けセミナーも開きます。7月に設立40周年を迎えました。今後も「地域で存在感のある団体」を目指します。

観光振興と商業活性化

中央支部　國分 勘兵衛 会長

中央区は、日本橋や銀座などの商業地区、兜町の金融街、横山町の繊維街に勝どき・晴海の高層マンションと、都会と下町の顔を併せ持つ職住一体型都市です。2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会では晴海地区の選手村にも集まる世界中の人に日本の〝おもてなし〟を提供すべく、今後、区や事業者と協議を重ねます。

約420社の区内企業が創業100年以上と、都内で最多を誇っています。長寿企業の増加と次代の経営者育成のため、08年に「中央区老舗起業塾」をスタートし、長寿企業の経営者に、長くビジネスを続ける秘訣（ひけつ）を話してもらいました。区内企業の活性化につなげています。

台東、千代田、港の各支部と共同で、管内にある老舗企業の経営者によるトークショーも企画しており、何世代にもわたって企業が羽ばたける土壌づくりに取り組み続けます。

長寿企業の増加と育成

大田支部　浅野 健 会長

大田支部は東京オリンピック・パラリンピック大会が開かれる2020年に設立60周年を迎えます。6年後に向けて羽田空港を抱える大田区ならではの「おもてなし」や、町工場の高い技術とデザインなどを加えて製品を海外に発信する「クールオオタ」を柱に、地域活性化につなげていく方針です。

おもてなしでは安心安全な街である大田区を目指して行政と連携し、区内で災害に遭い被災した人の避難場所や食糧の提供など地域の産業界として何ができるかを検討してまいります。また、羽田空港の利用者が搭乗までの待ち時間を利用して名所の見学やグルメを楽しむ観光コースの設定も検討していきます。

さらに、町工場間で仕事を割り振る〝仲間まわし〟を発展させ、関連団体とともに高付加価値製品やサービスを提供できるような支援策を講じ、地域経済の発展に寄与したいと考えています。

地域経済の発展に寄与

品川支部　大山 忠一 会長

品川支部は区内の産業振興に向け、品川区との連携に力を入れています。会員企業と地域経済発展のため、区長宛てに「品川区中小企業振興策に関する要望」を毎年提出しているほか、区内の業況や企業の状況を報告する懇談会や、防災とまちづくりの観点から区の幹部と意見交換する懇談会などの機会も設けて連携を密にしております。

また、会員間のビジネス交流やネットワーク拡大のため各種交流会を開催しています。1分間のPRスピーチや自社のパンフレット展示などを企画し、いつも満員という状況が続いています。

当支部は4月に設立40周年を迎えました。これを記念して昨年度はさまざまなイベントを行いました。中でも「婚活イベント」は、経営課題解決のために重要と、会員事業所から好評で本年度も実施を予定しています。今後も区内唯一の地域総合経済団体として産業発展に努めてまいります。

産業発展へ交流会開催

台東支部　小田切 満寿雄 会長

上野と浅草、二つの大きな街を抱える台東区には、2012年に国内外から約4000万人が訪れました。20年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、より増加が見込まれるため、台東支部では事業者向けの「おもてなしハンドブック」の改訂に取り組み、接客時の心得やしぐさ、指さし会話などを掲載して3月に配布する予定です。

また「おもてなし」の基本は安心・安全。台東支部では今年、「おもてなしに汗をかこう―地元の安全と安心」をスローガンに、区内3消防署の協力のもと救急救命講習会を開始しました。20年までに救急救命知識を持つ人を1000人生みだし、その方々を中心に、区内で盛んなお祭りやイベントへのボランティア活動を拡大し、観光客が安全・安心に過ごせる街づくりを進めます。さらに経営相談や講習会、交流会などを通じ、中小企業の活力強化にも引き続き努めてまいります。

「おもてなしに汗をかこう」

港支部　池田 朝彦 会長

港支部は10月に設立40周年を迎えます。「明日へつなぐ街みなと」をスローガンに掲げ、記念事業を予定しています。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決まり、来日する外国人が増えることを見越して「おもてなし力・アップ事業」を展開します。港区は六本木ヒルズや虎ノ門ヒルズなどの大型ビルが立ち並び、約80カ国の大使館が並ぶ国際色豊かな地域。同地域の飲食店や物販店は外国人客を呼び込むためのノウハウが必要です。そこで中小企業診断士などの専門家と協力し、外国人でにぎわう店の秘訣（ひけつ）などを盛り込んだ冊子を年内にも作る計画です。

また10月に震災復興支援を目的としたチャリティー講演会とコンサートを開催。さらに港支部の会員を中心に年4回の名刺交換会を開き、東南アジア諸国連合（ASEAN）に関するセミナーやIT関連の交流会などの事業に力を入れます。

「おもてなし力」アップ

国内シェア No.1※ターンテーブル
―全ては顧客ニーズに 100% 応えるために―

ISB はターンテーブルを製造して以来、「顧客ニーズに 100% 応えること」を企業理念に掲げ、約 50 年の歴史を築いて参りました。
更に、シェア 100% を目標に進化し続けております。
HP をご覧下さい。

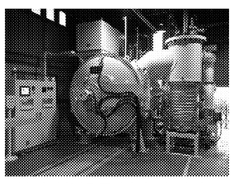
※メーカー別駐車装置完成実績のターンテーブル部門で日本No.1。（平成 24 年度　社団法人立体駐車場工業会調べ）

www.isb-iguchi.com
株式会社 井口機工製作所
本　社　〒178-0064　東京都練馬区南大泉 1-20-7
TEL.03-3923-1211 FAX.03-3923-8100
大　阪　支　店・名古屋オフィス・福岡オフィス
ISB KOREA CO.,LTD.　ISB CHINA CO.,LTD.　TAIWAN Office

日本工業規格表示認定工場
JIS B 6913
（鉄鋼の焼入焼戻し加工）
Accredited Nadcap
JIS Q 9100/ JIS Q 9001　ISO 14001
No. A4071-JIS Q 9100
No. E102-ISO14001
JAB CM002

金属熱処理 技術・技能のスペシャリスト集団！
航空機部品の熱処理もお任せください！

創業以来「お客様の製造ラインの一部門たれ」をモットーに、鋼に魂を入れる作業を続けてまいりました。4名の現代の名工を筆頭に、長年の経験を有する多くの優れた熟練工と技術者を擁し、「難しい熱処理は上島に頼め」と評判の会社です。航空機部品の熱処理（JIS Q9100・Nadcap認証取得済）や厳しい温度管理を必要とする精密熱処理テストも承っております。

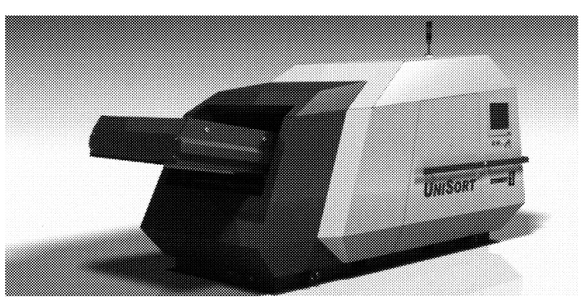


航空機部品対応真空炉

■営業品目
1.金属熱処理加工（塩浴・真空）：焼入焼戻し（高速度工具鋼を主とした工具鋼・マルテンサイト系ステンレス鋼）・固溶化（溶体化）・時効処理（鉄鋼材料、アルミ合金）・サブゼロ処理・クライオ処理　2.表面改質処理：PVD処理・ガス軟窒化・ホモ処理・WPC処理　3.摩擦圧接加工　4.精密熱処理テスト

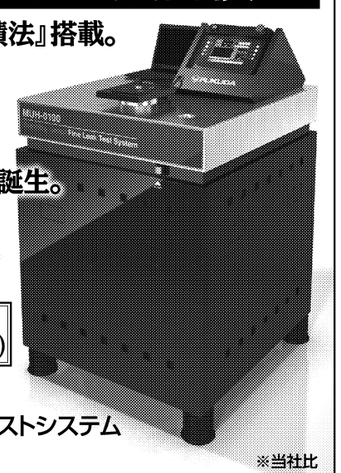
株式会社上島熱処理工業所（かみじま）
〒146-0081　東京都大田区仲池上2-23-13
TEL:03-3753-7788（代）　FAX:03-3751-5684
URL:http://www.kamijima.co.jp　E-mail:info@kamijima.co.jp

125年にわたる歴史と
実績を誇るドイツ技術の枠を
集約した選別機



STEINERT　株式会社シュタイネルトジャパン
東京都港区西麻布3-2-16 プレジデント六本木706
Tel.03-6447-0611　FAX.03-6447-0610
e-mail：yiwamatsu@ecos-consult.com

MEMSセンサの気密検査
新技術『カプセル蓄積法』搭載。
10万倍の感度※で
超微小漏れを検出。
最高レベルの
リークテストシステム誕生。
7/31発売
最小リーク可検量
4×10-15Pa・m3/s（He）
NEW
ウルトラファインリークテストシステム
MUH-0100
※当社比



リークテストの総合メーカ　FUKUDA　株式会社フクダ
TEL 03-3577-1111 FAX03-3577-1002 http://www.fukuda-jp.com